



2013.11.5

No. 238

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

出村良平

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

連合北海道 第26回定期大会を開催

工藤会長・出村事務局長体制2期目スタート



連合北海道は、第26回定期大会を10月29、30日の両日に開催し、向こう2年間の運動方針、2014年春季生活闘争基本構想、第13期役員体制などを確認した。

執行部を代表して挨拶にたった工藤会長は、提案される13期の運動方針を踏まえて挨拶を行い、「アベノミクスによる金融・経済政策は、実態経済として道民や働く者に波及していない。傷んだ雇用と賃金、労働条件を是正せず、格差の拡大や貧困の問題を放置すれば、社会の不安定化と劣化はより一層進むこととなる」「働く者や生活者を踏み台にした経済成長は、社会の安定と持続可能性を損なうものであり、決して許されるものではない」として、「職場・地域の仲間とともに、政府・与党のなりふり構わない労働分野の規制緩和に反対の声を上げ、社会的運動を積極的に展開するべく各種行動に積極的な参画を呼びかけて欲しい」と、出席代議員等に訴えた。

また、「集団的自衛権の行使」「国家安全保障会議の設置」「特定機密保護法案」などの政府・与党の動きに対し、「憲法の立憲主義と平和主義、主権在民、基本的

人権の尊重という憲法の原則を根底から揺るがす動きを強めている」と警鐘を鳴らし、「私たちは強い危機感と断固たる対応を持って臨んでいかなければならない」とした。

そして、2015年の統一自治体選挙に触れ、「幅広い協働・連携を強化し『21世紀をどう生き抜いていくのか、夢と希望の持てる北海道の確立』に向けて、連合は内外の関係組織と連携の下、諸準備を加速していく」と、統一自治体選挙への姿勢を明らかにした。

その後、連合本部木村副事務局長をはじめ北海道山谷副知事・札幌市上田市長などの来賓挨拶に続き、2013年度経過報告(活動・決算)や、2014-2015運動方針と春季生活闘争の基本構想、第24回参議院選挙総括が提起され、それに対し9組織より意見が出され、活発な質疑応答が行われた後、各議案とも満場一致で承認され、1日目が終了した。

2日目は、2014年度予算案、役員選挙、退任役員表彰と続き、大会宣言・特別決議が確認され、全ての日程を終了した。

役員改選では、2期目となる工藤会長-出村事務局長体制が確認され、工藤会長が2期目のスタートにあたり「産別・地域組織が一体となって働く者の立場に立った社会を作ることが、連合発足の根底であり、新執行部が一致結束して『働くことを軸とする安心社会実現』に全力を挙げていく」と力強く挨拶を行った。

第26回定期大会で発言された産別・地協は、以下の通り。

- JR連合（田原代議員）
 - 一連の事故に対するお詫びと今後の取り組み
- 北教組（木葉代議員）
 - 1) 全道キャラバンのお礼と全道キャラバンの成果と課題
 - 2) 予定している北教組奨学金などの取り組みへの協力要請
- 自治労（藤盛代議員）
 - 1) 地方財政確立に向けた取り組みの強化
 - 2) 統一自治体選挙に向けた取り組み
 - 3) HP活用した情報発信の充実
- JR総連（笹森代議員）
 - 事故・不祥事のお詫びと安全確立に向けた取り組み
- UAゼンセン（佐藤代議員）



団結ガンバロー



前武田副事務局長退任挨拶

- 北朝鮮による拉致被害者家族支援
- 道季労（新野代議員）
 - 1) 季節労働者、道季労、企業組合等の状況報告
 - 2) 地協・地区連合による地域での支援活動強化
 - 3) 特例一時金50日分の復活などの政策要求
- 十勝地協（中村特別代議員）
 - 1) 中小労働運動の強化
 - 2) 社会的影響力のある労働運動
 - 3) 平和問題
 - 4) 帯広市長選挙
- 留萌地協（野呂特別代議員）
 - 1) 地協・地区連合の基盤整備
 - 2) 政治活動の強化
 - 3) 季節労働者退職者連合運動の強化
 - 4) 退職者連合運動の強化、
- 宗谷地協（多賀特別代議員）
 - 1) 季節労働者の通年雇用促進協議会について
 - 2) TPP問題
 - 3) 全道キャラバン行動における全戸チラシ配布の取り組み

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013103001_26taikai.html

2013年度（第13期）連合北海道役員

第26回定期大会（2013年10月29～30日）

- 会長 工藤和男（情報労連／専従）
- 会長代行 林秀彦（北教組／非専従）
- 副会長 勘川敏（電力総連／非専従）
- 紺野則仁（運輸労連／非専従）
- 杉山元（情報労連／非専従）
- 添田昭史（JP労組／非専従）
- 畑山忠生（自動車総連／非専従）
- 森澄男（UAゼンセン／非専従）
- 安田宗一（国公連合／非専従）
- 山上潔（自治労／非専従）
- 事務局長 出村良平（自治労／専従）
- 副事務局長 岡島光行（電力総連／専従）
- 渡辺直志（JP労組／専従）

- 執行委員 齊藤勉（UAゼンセン／専従）
- 坪田伸一（事務局／専従）
- 永田重人（自治労／専従）
- 緑川義昭（北教組／専従）
- （女性枠） 畠山みのり（情報労連／非専従）
- （女性枠） 山田悦子（サービス・流通連合／非専従）
- （青年枠） 瀧口和成（自治労／非専従）
- 会計監査 上西雅信（電機連合）
- 高田誠（交通労連）
- 外山保浩（森林労連）
- 松坂武敏（UAゼンセン）
- 若林敬一（紙パ連合）

退任役員の方皆さん 大変お疲れさまでした

- 副会長 井田邦佳（電力総連／非専従）
- 熊澤裕幸（情報労連／非専従）
- 副事務局長 武田伸一（電力総連／専従）

- 執行委員（女性枠） 長谷山智恵美（北教組／非専従）
- 会計監査 神成武彦（森林労連）
- 酒井淳（紙パ連合）

2014年度道政に関する「要求と提言」対道交渉 雇用の創出と質の改善などを求める

連合北海道は10月24日、「2014年度道政に関する『要求と提言』対道交渉」を行った。雇用の安定・創出と公正な労働条件の確保をはじめとして8分野182項目にわたる「要求と提言」は8月20日に提出していたが、今回はその中から、雇用と産業、医療、教育政策など最重点43項目に絞り込んで道庁各部に実現を求めた。交渉には連合北海道常駐部の他、10産別のべ30人が参加した。

冒頭、松下北海道労働局長が「北海道の求人倍率は持ち直し傾向にあるものの、全国平均0.84を下回っている」と雇用情勢にふれ、「厳しいという認識で、交付金の活用や若年者対策等で雇用の改善をはかっていきたい」と挨拶した。

これに対して出村事務局長は、最低賃金の発効に伴い今月18日、19日の二日間実施した「最賃周知労働相談」で60件以上の相談が寄せられたことを報告し、「北海道の世帯収入は減少し続けている。95万人が非正規労働者。連合北海道も『STOP THE 格差社会 暮らしの底上げ実現』の取り組みを展開しているが、雇用環境の改善に全力で取り組みたい」と考えを述べた。

経済部との交渉では坪田総合政策局長や永田組織労働局長らが「北海道の有効求人倍率0.74倍のうち、非正規が46%を占めている」と指摘。雇用の創出と併せて質の改善をはかることや、これまで道の雇用対策で活用されてきた緊急雇用交付金事業が、雇用情勢が持ち直しつつあるとして今年度限りとなっていることについて、次年度の予算確保に向けた道の考えを質した。

エネルギー問題に関しては、連合北海道エネルギー・環境政策委員会の議論を踏まえて、道民参加による北海道のエネルギービジョンの策定を求めた。また、「省エ



ネ・新エネ促進行動計画」の着実な実現に向けた数値目標の設定を求めたことに対して、道の担当者は、「国が年内にもとりまとめようとしている新たなエネルギー政策で、数値目標が出てなくても、道としての方向性を示さなければならぬと考える」と、「国の方向性が示されていない」として留保していた従来の回答から踏み込んだ考え方を示した。

保健福祉部交渉では特に地域医療の確保を中心に議論した。社会保障制度改革国民会議報告に基づく地域医療ビジョンの策定や自治体病院等広域化連携構想の検討促進など、2018年度からの次期医療計画の策定に向けた課題解決にあたって、道の主体的な役割の発揮を強く求めた。

また、総務部との交渉では10月8日に実施された北海道原子力防災訓練の際に連合北海道が実施した調査活動で得られた調査員の指摘を道に伝え、さらなる訓練の実効性の向上と住民の安心・安全確保を求めた

※今後、「2014年度道政に関する要求と提言 回答集および対道交渉記録」を作成し、産別、地協に送付の予定。

渡島地協 第4回「食と環境祭り」開催

晴れ・曇り・雨の繰り返しの中、今年も大賑わい

前日までの雨で開催が危ぶまれていた「第4回食と環境祭り」は、早朝の晴れ上がった天候に「GO!」サインが出され、10月12日、会場となった函館市「緑の島」には、産別・単組・団体から実行委員50名が集まり、準備が進められた。

誰もが、無事開催できることを信じて疑うことも無く、多くの市民で昨年以上に盛り上がることを期待して、24張りのテントを組み立て、テーブルと椅子を並べ、出店の準備に取り掛かったとき、不気味な雲が上空を覆い、突然の雨。

雨脚の強さに実行委員会中枢は相談を行い、「中止もやむを得ず」の判断も重くのしかかったとき雨は止み、太陽の日差しが会場に降り注ぎ最悪の事態は何とか回避

された。

遅れを取り返し、開会時間に間に合わせようとする必死の実行委員の努力も実り、何とか会場は完成し来場者を受け入れる体制の整った。

しかし、雨の影響で、組合員・家族だけではなく、多くの市民の出足はきわめて不調で、開会式の行われる時間には例年に比べると人出は少なかったことは否定できない。

函館と巴太鼓振興会Jrの壮大な演奏で幕をきった「第4回食と環境祭り」は、長谷川義樹実行委員長（連合渡島地協副会長・函館市職労委員長）が挨拶に立ち、食の安心・安全に対する取り組みと地球温暖化等の環境問題の重要性を訴え、併せてイベントの趣旨のひとつでもある「地産地消の推進」を強く訴えた。

各出店の販売スタートと同時に来場者はそれぞれのブースに群がり、中には早速行列の出来るブースも見られるなど雰囲気は上々。

心配された客足も徐々に回復し、会場内は賑わいを見せ始めたとき、青空にも関わらずまたまた意地悪な雨が落ち始めた。今回は小雨程度が短時間で済んだものの、事務局としてはハラハラの連続。

それでも市民を含む多くの来場者は雨にも負けず各ブースに立ち寄り、その場で食べる人、お土産に持ち帰る人、格安野菜の袋詰めに夢中になる人、持ちきれない格安野菜を抱える人、巨大な木製オセロでゲームを楽しむ人、震災や環境・エコのパネル展を見て回る人などなど、従前にも勝るとも劣らない光景が数多く見られた。

50名にも及ぶ函館桔梗中学校吹奏楽部の演奏も会場に流れ、楽しい雰囲気に包まれたとき、またまたポツリ・ポツリと空から雨の気配が。落ち着かない雰囲気の中でも演奏は続けられ、みんなの気迫が雨を押し戻したかのように演奏後半には空は一転して晴れ間も出始めていた。

各ブースも、いつ雨が降り出すかの不安を抱きつつ、最後の追い込みに必死。

イベントスペースでは最後の催しでもある「新米のあたる抽選会」が行われた。

道南農民連盟やJA新函館・JA今金・JA北檜山等からの協力を頂き、450g(3合)50本、2kg袋15本、5kg袋15本と80本の新米があたるとあって、来場者は真剣なまなざしで佐々木副実行委員長(道南地区農民連盟委員長)の抽選に注目。

数字が読み上げられるたびに歓声とため息が入り乱れ、会場は大いに盛り上がった。



最後の数本を引くときに、またまた雨が会場に降り注ぎ、ぬれながらの幕引きになったが、雨の中閉会挨拶に立った佐々木副実行委員長は、悪天候の中での協力に御礼を述べるとともに、次回以降さらに内容の充実を図っていくことを約束して4時間あまりの「第4回食と環境祭り」は閉会となった。

天候のせいでの出入りが激しく、正確に把握することは難しいが、昨年よりは参加者は減少したことは明らかではあるが、それでも600人近い組合員・家族・市民の方が会場に足を運んでくれたことは成功と判断できるのではないかと思う。

今回の祭りには、昨年に引き続き「十勝地域協議会」が豚肉100%手作りフランクフルトで参加いただくと同時に、「留萌地協」からは蛸の燻製を使った「たこ飯」が初参加し、好評を博すと同時に完売をしたのも印象的であった。また、「後志地協」「胆振地協」からも開催状況の視察があり、連合が求める地域住民と一体感の持てる運動の具体的実践として、今後の参考にしたい旨が事務局に伝えられた。

屋外イベントの最大の敵は天候であり、人間が勝てないのも「自然」であることが改めて痛感させられた一日ではあったが、各ブースの中心が労組役員ではなく、多くの若い組合員が積極的に携わっていたことは、今後の組織強化の観点でも高く評価しあえるものであったと受け止めたい。

※翌日には事務局に「順延したのか」との問い合わせも数多く寄せられていた。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013101201_oshima_4thfef.html



11月の主な動き

イベントカレンダー

■JIRRA個別労働紛争解決研修

1日(金) 12:40/北農健保会館

■春季生活闘争中央討論集会

5日(火) 13:00/ホテルラングウッド

■平和行動 in 沖縄

7日(木)/沖縄県

■労働法出前講座

8日(金) 18:30~9日(土)/連合北海道会議室

■「安心社会」全道キャンペーン街宣

11日(月)/札幌駅前、他

■第4回北海道労働福祉講座

13日(水) 13:30/京王プラザホテル

■労働福祉対策特別委員会

13日(水) 15:30/京王プラザホテル

■ワークルール検定

16日(土) 9:00/札幌・旭川・函館・帯広

■中央執行委員会

21日(木) 13:30/連合会館

■労働法出前講座

22日(金) 18:30~23日(土)/連合北海道会議室

■第2回執行委員会

27日(水) 10:00/連合北海道会議室

■第1回地協事務局長会議

27日(水) 13:30/連合北海道会議室

■第2回憲法講座

27日(水) 18:00/芸文館

■第1回医療・介護対策委員会

28日(木) 10:00/ガーデンパレス